



新地町立福田小学校だより

観瀾 かんらん

No.11

2021. 7. 16

文責 校長

主体的な姿

～授業参観と宿泊学習と七夕集会～

7月になってようやく今年度初めての授業参観を実施することができました。特に1年生の保護者の皆様にとっては待ち遠しかったのではないのでしょうか。参観ありがとうございました。



お子様の学習の様子はいかがだったでしょうか。現在授業を展開する上で、ベースになっている視点は「主体的・対話的で深い学び」です。このフレーズを目にした保護者の方も多くいらっしゃると思いますが、この言葉は平成29年3月に告示された学習指導要領で初めて登場しました。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて本校でも研究に取り組んでいるところです。子どもたちの「知りたい」「調べたい」「やってみたい」という気持ちを高め、子どもが生き生きと自分から学びに向かう「**主体的な姿**」を目指し、研究を進めています。

ところで先週は、6年生の宿泊学習がありました。天候が心配でしたが、予定されていた全ての活動を実施することができ、とても充実した3日間を過ごすことができました。(詳しくは本校のホームページをご覧ください。)そこでの6年生の姿がたいへん素晴らしく、一人一人が「**主体的**」で「**自律**」していました。「見たい」「行きたい」「やってみたい」「調べたい」「挑戦したい」…。前述した主体的な姿が多く見られました。さらに**自分で考えて、判断して、行動すること**もできました。自分で考え、判断するという事は自分で責任を負

うということです。「自律」した子は決して人のせいにはしません。たとえ失敗しても前向きにとらえる力があります。さすが6年生でした。これまで学校で培ってきたものが大いに発揮された3日間でした。

宿泊学習の翌々日、全校七夕集会がありました。校長講話で七夕にまつわる話ではなく、宿泊学習での6年生の主体的な姿を紹介し、こんな話をしました。「3日間6年生が素晴らしい活動ができたのは『見たい』『行きたい』『やってみたい』のたくさんの『たい』があったからです。これを『主体的』と言います。みんなも心の中にたくさんの『たい』を泳がせてほしいと思います。」



子どものためによかれと思ってやっていることが、子どもの「主体性」や「自律」を身に付ける機会を奪っているかもしれません。子どもの考えを認める、子どもがやりたいことをやらせてみる、子どもの挑戦を褒める、励ます、そんな関わり方を心がけていきたいと考えています。

蛇足ですが、先日保護者の方から「学校の玄関の花がきれいですね。玄関周りが華やかになりましたね。」と声をかけていただきました。そして「学校だよりを楽しみにしています。隅から隅まで読んでいます。」と嬉しいお言葉もいただきました。褒められるとやる気が湧いてくるのは子どもだけではなくありませんね。言葉の力を改めて感じました。